

## 第2学年「算数」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 立式された問題を正確にとくことができる。
  - 具体物を操作して数量や形を見出したり、問題解決したり、表現したりすることに意欲に取り組む児童が多い。
- 課題**
- ▼ 時計を正確に読めない児童が少なからずいる。
  - ▼ 文章題を正しく読んで状況を理解し立式したり答え方を考えたりすることが難しい。
  - ▼ くり下がりにあるひき算の、くり下がった後の一の位の計算が間違えやすい。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 基本的な数量や図形の内容や意味、性質を確実に理解することや数量や図形の内容をより豊かにするとともに、数学的な処理や表現の基礎となる力を身に付けさせる。
- ◇ 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力
- ◇ 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用する態度を養う。

### 具体的な改善策

#### 主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 前時の学習の振り返りや既習事項を確認し、本時とのつながりを示す。
- 図形など、具体物を用いて児童が直接操作できるようにする。

#### 言語活動の工夫

- 自分の考えを書き、友達と共有する時間を設ける。
- 全体共有の場で、友達の考えを違う児童が説明する。

#### ICT活用の工夫

- 問題文等をテレビに示し、視覚的に数量を認識できるようにする。
- 自分の考えを図示し、タブレットで記録したものを共有できるようにする。

#### 課題解決力育成の工夫

- 文章題の「分かること」「聞かれていること」を明確にし、問題に取り組む。
- 具体物や図を用いて、課題を捉えられるようにする。

### 達成目標

- 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。
- 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。